

## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

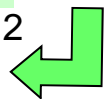
1. [おことわり](#)(1)
2. [ブラック企業の定義](#)(2)
3. [就職の現状](#)(5)
4. [ブラック企業の実例](#)(3)
5. [ブラック企業問題化の歴史](#)(2)
6. [伝統的企業とブラック企業](#)(3)
7. [社会への影響](#)(2)
8. [行政教育上の問題](#)(3)
9. [何をどうすればよいか](#)(6)

入口紀男

## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

### 実名をあげての質疑は気をつけて

- ・ 公然と事実を摘示し、人の名誉を毀損した者は、その事実の有無にかかわらず、3年以下の懲役若しくは禁錮又は50万円以下の罰金に処する(刑230親告罪)。
- ・ 事実を摘示しなくても、公然と人を侮辱した者は、拘留又は科料に処する(刑231親告罪)。
- ・ 虚偽の風説を流布し、又は偽計を用いて、人の信用を毀損し、又はその業務を妨害した者は、3年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処する(刑233)。

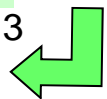


## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

「若者の大量解雇により製品価格を引き下げて市場競争する企業」

- ・ 新卒を大量に採用する
- ・ 正社員を徹底して「使い捨ての消耗品」と見る
- ・ 20代を過ぎると自己都合退職へ追い込む
- ・ 労務費を浮かせ、自社製品価格を下げて製品市場で競争する
- ・ 膨大な損失(コスト)を社会に転嫁して成長する
- ・ 有為の若者だけでなく、日本の国力基盤を破壊する
- ・ 少子化を深刻に推進し、日本の将来を深刻に破たんさせる

[次へ](#)



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

### 1. 使い捨ての徹底

従業員を「はいて捨てるほどいる無価値な消耗品」と見る

### 2. 過酷な労働者選別

解雇の恐怖と過剰なノルマ。「従業員＝コスト(悪)」を洗脳教育  
仕事をマニュアル化して「代わりは幾らでもいる」と悟らせる

### 3. 辞めさせるための「コストと利益の方程式」

全国チェーンをつくり、正社員として2年に3回全国転勤させるなど  
「利益」を出す「平均的自己都合退職年齢」を数式化

### 4. 大量解雇と大量採用

最初から使い捨てることを前提に大量採用し、大量解雇する  
20代(新人給与年齢)を過ぎると自己都合退職へ追い込む  
労務費を全体で低く抑え、自社の商品価格を下げて市場で競争する  
若者はうつ病に罹患させられる。二度と新卒就活はできない  
背景に就職希望の大量の新卒、フリーター、ニート



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

### 実録映画『遭難フリーター』岩淵弘樹(26)

朝、請負大手の日研総業の寮から派遣  
先埼玉のキャノンの工場に行く前、納豆  
ごはんをかきこむ。

フリーター岩淵弘樹(26)監督・主演映画  
『遭難フリーター』(2009)より



俺は、誰の奴隷だ？

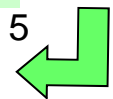
正社員がフリーターを「社会からの逸脱者」として偏見。

「派遣社員はゴミ箱を使うな」の張り紙。

何十年働いても「派遣」である限り1円も上がらない。

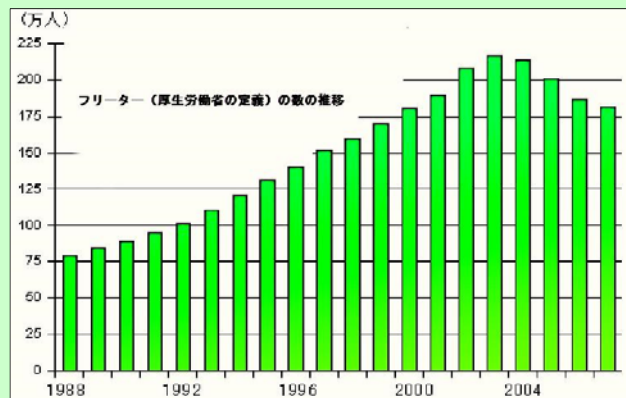
次の仕事がなくなると寮から追い出され、いつでもホームレスに転落。

[次へ](#)



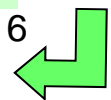
## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

バブル経済が崩壊するとアルバイトの賃金は急速に落ち込む  
学生は数十社回って一社内定が取れるか取れないかという状況  
大卒でも半数近くが就職できず  
ハローワークの中途採用も求職者数に対して求人数が半分近く  
新卒で就職できなかった者は「遭難フリーター」になるしかない状況

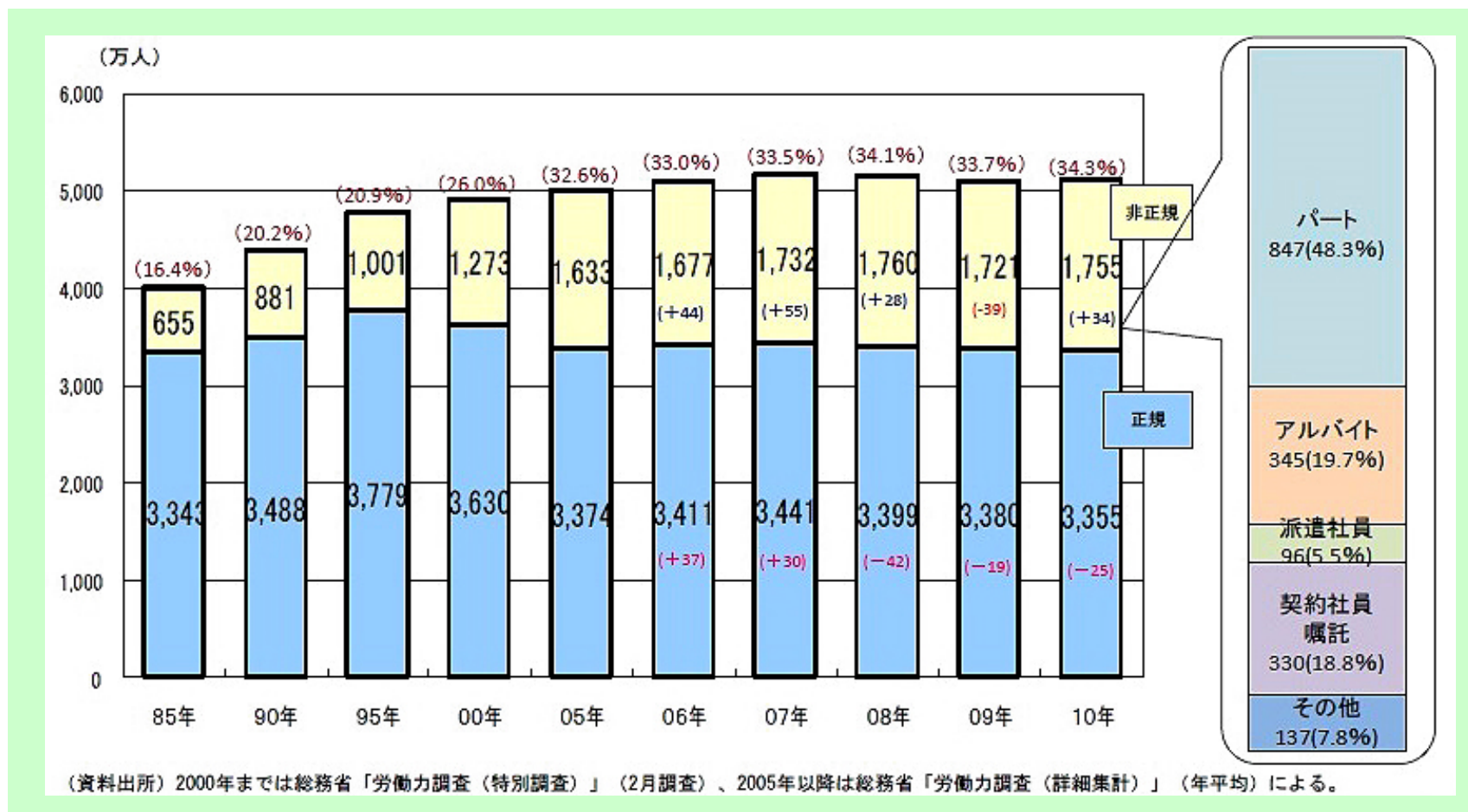


図は、厚生労働省「自発的フリーター」の数  
内閣府調査では遭難者を含み、  
「2001年度に417万人」

[次へ](#)



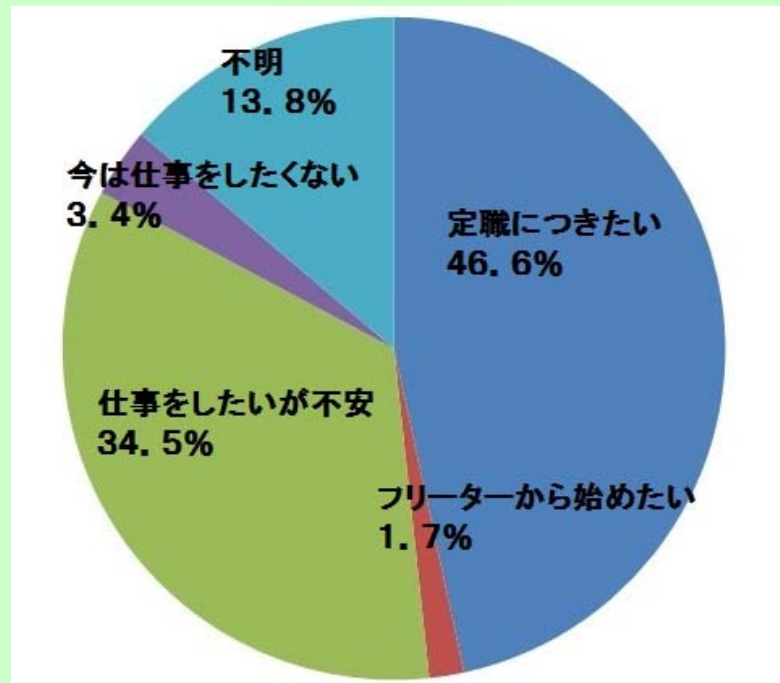
## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実



[次へ](#)

## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

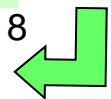
全国ニートの実数は合計200万人と推定される(2010年)



ニートも  
「遭難者」  
である

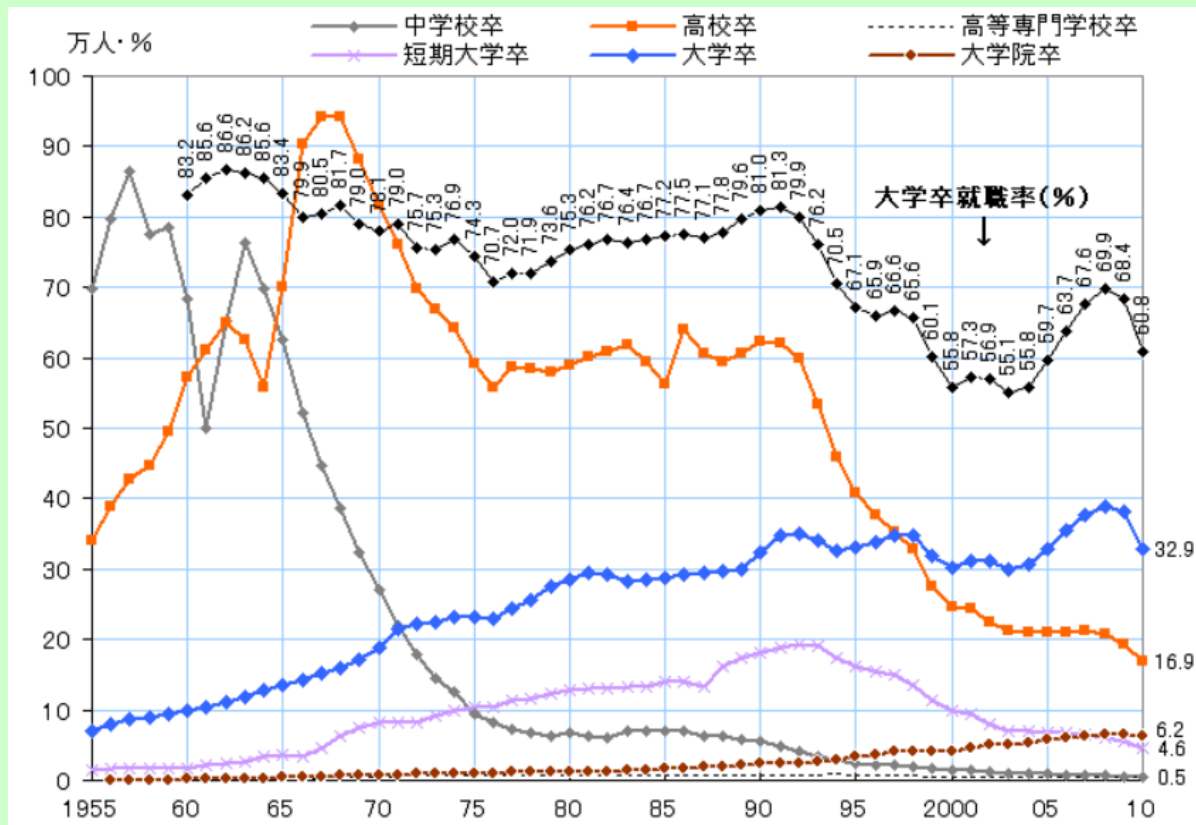
横浜市2008年調査

[次へ](#)





## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実



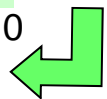
この他、定職に就きたいフリーター450万人、定職に就きたいニート150万人

## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

東京の大手情報技術コンサルティング会社(1,000人)氷河期にようやく内定。  
同期200名が採用されて入社した。  
実際は、他の企業に社員を派遣して下請け仕事をさせる会社。  
仕事を始めてまもなく自分の派遣先の契約が終了した。  
次の派遣先がしばらく決まらなかった。  
上司から「使えない」「人間的におかしい」といわれた。  
「改善」のため人事担当者の執拗な「カウンセリング」を受けた。  
「辞めろ」とは言われず「教育」のためトイレ清掃、先輩社員の靴磨き。  
「日本語がおかしい」といわれ、中学生の国語ドリルを多数渡される。  
いくら指導に従っても叱られた。  
2年間で同期入社半数が辞めていた。

朝日新聞 「若者を食いつぶすブラック企業」 平成25年1月5日

[次へ](#)



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

大手情報技術コンサルティング会社(朝日新聞1月5日)

入社式の人事部執行役員による挨拶

「お前たちはクズだ。その理由は、現時点で会社に利益をもたらすヤツが一人もないからだ。利益をもたらせないヤツが給料をもらうということは悪以外の何物でもない」

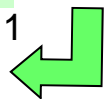
研修成果のレポートを受け取った人事担当者の返事

「成果とは会社に利益をもたらすことだ。そんなこともわからない新卒は最悪だ。人間としておかしい」

結果(利益)を出さなければクズとして扱われるという恐怖

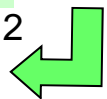
努力しても何をしてしても絶え間なく否定される

[次へ](#)



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

A社 東証一部上場超大手量販全国展開 最近は「グローバル企業」を売り物  
全国上位有名大学卒を大量に採用 実力主義と聞いた  
女子大では成績優秀。語学堪能だった。  
グローバル人材として自分を活かし、更なる能力の開発に強い期待を寄せた  
辺鄙な(それ自体が悪くない)店舗に配属され異様と感じられる会社の管理  
早朝から深夜まで土日も14時間以上。自分の時間はなかった  
ひたすら店長になる「店舗運営マニュアル」の暗記と試験  
4年目店長は視野が狭く、店舗運営のことしか話さなかった  
もう「店長にならなくてよい」と思った瞬間に心が折れた  
駐車場でじっと待機し、「よしっ」と気を取り直して出勤した  
うつ病に罹患し、自己都合退職へ追い込まれた  
1年後同期入社の中半くらいが精神を病んで辞めていた  
今野晴貴『ブラック企業』文春文庫 2012



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

2007年 2ちゃんねる掲示板で「ブラック企業」のスレッド

2008年 米国投資銀行 リーマン・ブラザーズ 破綻

2008年 内定切り、派遣切り、新卒いじめが広まる

採用して試用期間中に解雇するなどの違法な内定切り

2008年 年越し派遣村(日比谷公園)

若者の「意識」の問題でなく、非正規雇用が若者に「先のない雇用」を押し付け、未来を閉ざす事実がだんだん明らかとなる

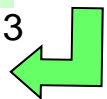
2008年 黒井勇人著 新潮社刊

『ブラック会社に勤めているんだがもう俺は限界かもしれない』

2ちゃんねるの書き込み内容をもとに刊行

2009年 同内容で映画化公開 監督:佐藤祐市

[次へ](#)



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

### 「2ちゃんねる」



西村博之(2ch)

ブラック企業に対する唯一の対抗手段として機能した。  
ブラック企業について情報交換が広範囲に行われた。  
情報は分析されて、事実が冷静に残るようになった。  
単なる「腹いせ」や「出まかせ」は淘汰されてきた。

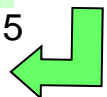


## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

### 日本型雇用の伝統的な合意

1950年代から大規模で深刻な労使紛争を経て形成された  
処遇を引き下げたり恣意的に解雇すると逆に経営が悪化した  
労使間で安定な関係を築いた方が収益がよいことがわかった  
高度成長期には企業は若者の「選別」も「使い捨て」もできず  
労使合意できる水準で経営の理にかなう労働条件がよかった  
雇用の安定(終身雇用と年功賃金)と引き換えに、仕事の内容  
や命令のあり方の無制約を労働者の側も納得

[次へ](#)

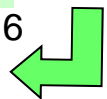


## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

### ブラック企業は日本型雇用への期待を「逆手」にとる

晴れて正社員となれた新卒は、伝統的な終身雇用・年功賃金を「期待」して企業からの制約のない命令を受け入れる  
郷里の親世代はむかし日本型企业にお世話になったことしか知らないで、息子・娘からの相談に対して「2年に3回の全国転勤」も受けいれるように助言する。息子・娘は孤立する  
新興ブラック企業に日本型雇用の「合意」など最初からない若者は追いつめられて自己都合退職する

[次へ](#)





## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

郷里の親世代は、

「ブラック企業」が存在するなど、そもそも常識に反する  
ごく例外的な一握りの会社だろうと想像する

老舗旧日本型企业もブラック企業との市場競争に直面した

例 「人の松下」から「追い出し部屋のパナソニック」へ

朝日新聞2012年12月31日1面トップと2面にパナソニックの社名をあげて掲載  
退職を強要しないが、主な仕事は他部署の応援。

応援要請がない場合は何もせずに終業時間を待つだけの日々

全国正社員35歳の貨幣価値(平均年収)が低下している

1997年: 550万円 2010年: 300万円 (三菱総研調査)



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

### 新卒の使い捨ては日本社会へ費用転嫁される

ブラック企業は、

多くの若者のうつ病の医療コスト

過労死のコスト

多くの若者が精神の後遺障害で働けなくなるコスト

非正規雇用者大量発生のコスト

日本で労使の信頼関係を破壊したコスト

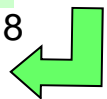
少子化を深刻化させる社会的コスト

その他日本の社会経済システムを破壊するコスト

膨大なコストを日本社会に戦略的に押しつけて成長する

利益をあげて納税し、その何倍もの膨大な損失を日本社会に押しつける

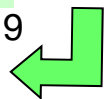
[次へ](#)



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

### ブラック企業はコスト(損失)を社会に転嫁する

ブラック企業は、その人的資源を戦略的に破壊し尽す  
若者の私生活は崩壊。恋愛や出産子育ての機会が奪われる  
おびただしい数の若く有為な人材と日本の国力が消耗される  
若者の企業に対する信頼が日本社会の中で破壊される  
若い正社員を生活保護に転落させて素知らぬ顔を決め込む  
若者がうつ病に苦しんでも税金と社会保険料で賄われる  
社会的非難は、生活保護に転落した若者の方に向けられる



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

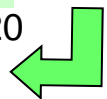
### 政府や御用学者もブラック企業を支援した

自らが施策責任をもつべき「新卒非正規雇用」や「生活自立型非正規雇用」「失業」の問題をフリーターやニートなどの「意識」の問題へと転嫁した

- 「ブラック企業も雇用を創出している」
- 「ブラック企業も高い利益をあげて納税している」
- 「ブラック企業も成長すれば日本経済のためになる」
- 「ブラック企業などと言わずに頑張っている人もいる」
- 「ブラック企業と言っている若者は 自分勝手に気ままだ」

それでもブラック企業は冷徹無比、戦略的に若者を食いつぶす

[次へ](#)



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

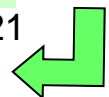
### 仕事のマニュアル化もブラック企業を支える

若者が企業で「欠かせない人材」に育つことがなくなる  
過重ノルマを果たせない労働者は解雇される

### 「資格制度」もブラック企業を支援

若者は「取り換え可能」となる(情報産業、介護産業等)

[次へ](#)



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

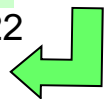
**政府や御用学者は次に「教育問題」に転嫁した**

**内閣府は若者の著しい離職状況に「キャリア教育が必要」  
として「教育問題」に責任転嫁した**

**低学年から「職場体験」などをさせ「意識」を高めようとする**

**そのような教育を受けても健全な就職先は見つからない**

**ブラック企業から身を守る方法を子どもたちに教えるべき**



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

# 何をどうすればよいのか

法的な視点からすべてを洗い直してみることに

これでとたんに見え方はすっかり変わる

何が正しく、何が権利であるかを知ること

会社の違法行為を我慢することに社会的合理性はない

[次へ](#)



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

### 専門家である相手は非常に巧妙

「若い仲間が多く♪」 実は若手を大量雇用・大量解雇

「残業なし☆」 実は残業の「手当」がない

「ノルマなし♪」 達成不能な自主目標を設定させて解雇  
自主目標が低ければ「意識が低い」と解雇

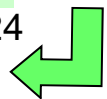
「成果主義☆年俸制♪」 実は主観的評価の人件費削減策

「努力を正当に評価☆」 損益を勘案して恣意的に評価

「パートも海外教育♪」 少人数格安やらせ旅行の誇大宣伝  
正社員をパートと競わせて使い捨て

「いつも新鮮な職場で視野も広がり☆」 2年に3回の全国転勤

[次へ](#)





## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

### 先ず「うつ病」対策

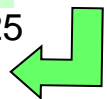
「自分が悪い」と問いつめて「うつ病」にかからないこと  
会社が若者を食いつぶすのは、「善悪」とは無関係である  
「カウンセリング」で深く、さらに深く、若者の心を折ってくる  
それが人間破壊の「心理的トリック」であることに気づく

「逃げるが勝ち」を計算に入れておく

「うつ病」に罹患せしめられてからでは絶対に遅い

明日と将来を考えて「自分の健康を守ること」が第一の道

[次へ](#)

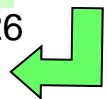


## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

### 戦略的に考える

「自己都合退職」をまず拒否する  
相手は強硬手段に出ざるを得ない。それを逐一正確に記録  
会社は、「解雇」をもち出すと現法律で徹底的に不利となる  
退職に「強要」の行為があれば「同意」があっても無効  
「懲戒」や「始末書」も、会社でどう行われたかが問題となる  
会社は「解雇回避の努力」「将来への教育可能性」を問われる  
「うつ病」にならないうちに正確な記録を取り、弁護士に相談する  
弁護士に相談するのは意外と低額（雇うのは高額だが）  
弁護士と検討していることを相手に気付かれてよい  
労基署の利用も、一人ではなく弁護士に相談してから  
法人別労組は、伝統的には賃闘で役立つだけである

[次へ](#)



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

### 政府・公的機関は何をどうすればよいのか

「普通の人が生きていけるモデル」を策定すること  
最低賃金と国家福祉で普通の生活を保証すること  
手厚い失業対策で「代わりは幾らでもいる」状態をなくすこと  
過重労働を規制し、監視制度の他に、通報制度を策定すること  
「正社員の平均在職年数」を公表させること  
「退職後半年以内にうつ病と診断された人数」を公表させること  
学校の「生活科」の中で労働法の基本と権利を教えること

[次へ](#)



## 第168回 インターネット掲示板とブラック企業の現実

**最後に重要なことは**

**法的観点から修羅場を幾つも通りぬけた人生経験**

**弁護士、法律の専門家でもこれがなかなかできない人がいる  
敵は冷徹な収益戦略の専門家である**

**わが身は自分で守る**

